



松野 小百合
エルエス・パートナーズ(株)
社長

中小企業の海外進出を支援

企業の新興国を中心とした海外進出支援コンサルティングを手掛けるエルエス・パートナーズ(株)(東京都新宿区四谷)は今年4月、九州内の中小企業を対象にフアンドを運営する(株)ドーガン・アドバイザーズ(福岡市中央区大名2丁目、森大介社長)と業務提携した。同社の松野小百合社長は「今後、日本の中小企業は海外に進出しないと生き残っていけない。ドーガン・アドバイザーズのクライアント層である九州の中小企業の社長は比較的、海外進出に積極的な人が多い。そういった部分で顧客ニーズにマッチしていたと思う」と業務提携に至った経緯を語る。

同社は世界40カ国約百社と提携し、各国のマーケティングや販路開拓などで日本企業の海外進出を支援している。中でもインドの西海岸に面するムンバイ

には子会社を保有し、松野社長も月の約半分はインドで過ごすほどビジネスシーンにおけるインドの重要性に注目している。「ムンバイはインドの商業拠点。交通のアクセスも良く中東の企業はこぞってムンバイにやってくる。中東の国々では印僑ネットワークがあるほどインドは重要視されており、当社のグローバル拠点にも最適だと考えている」とインドの魅力について話す。

大学院卒業後、国連やドイツ政府系研究機関に勤務するなど常に世界を舞台に活躍してきた松野社長。「いままで培ってきた経験を生かし、グローバル化の波の中で社会のためになる新しい価値を生み出す仕事をしていきたい。当社ももちろんグローバル企業を目指しており、世界で成功した姿を日本の後輩たちに見せたい」と今後を見据えた。

(遠賀郡水巻町出身。1978年10月5日生まれ。33歳。九州大学大学院卒。趣味はジョギング、料理)